

メチシリン耐性黄色ブドウ球菌（MRSA）腸炎の臨床予測モデルの構築と内部検証

1. 研究の対象

2012年4月1日～2025年12月31日において、高知大学医学部附属病院に入院され、便培養検査でメチシリン耐性黄色ブドウ球菌（methicillin-resistant *Staphylococcus aureus* : MRSA）が検出された方

2. 研究目的・方法

胃の切除や抗菌薬治療をうけられた患者さんで、発熱や多量の水溶性の下痢を発症される方が少なからずおられます。しかし、発熱と下痢の原因が特定できないまま、治療がなされる場合があります。これまでに、一部の患者さんでは、MRSA と呼ばれる毒素を産生する薬剤耐性菌が原因であると考えられてきましたが、その診断は不確定なままです。本研究では、過去に MRSA が原因で発熱や下痢を発症した患者さんの診療情報を収集します。診療情報をもとに医師が病室で、MRSA による感染症が重症化したり、治療に時間がかかったりする危険性を、より早く、正確に予測できるようにするための新しい方法（予測モデル）を開発することを目的とします。

3. 研究期間

研究機関の長の実施許可日～2027年3月末日まで

4. 利用又は提供を開始する予定日

2026年2月1日

5. 研究に用いる情報の種類

情報：年齢、身長、体重、病歴、薬歴、血液検査値、微生物学的検査結果等

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

「住所」 〒783-8505 高知県南国市岡豊町小蓮 185-1

「電話番号」 088-880-2548

「担当者の所属・氏名」高知大学医学部附属病院 感染管理部 八木祐助（研究責任者）